

平成20年9月 全国百貨店売上高概況

平成20年10月17日

I. 概況

1. 売上高総額	5,240億円余
2. 前年同月比	-4.7% (店舗数調整後/7か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	92社 279店 (平成20年8月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	6,792,407㎡ (前年同月比:-0.2%)
5. 総従業員数	101,027人 (前年同月比:0.7%)
6. 3か月移動平均値	2-4月 -1.4%、3-5月 -2.4%、4-6月 -4.6%、 5-7月 -4.2%、6-8月 -4.4%、7-9月 -3.3%

[参考] 平成19年9月の売上高増減率は-2.5% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

7か月連続で前年同月比マイナスとなった。

9月は比較的安定した天候と平年並みの気温で推移し、秋物商材の本格展開が期待されたが、中旬に発生した米国大手証券会社の破綻以降、世界的な景気後退のトレンドが明確になり、先行き不安による消費マインドの冷え込みが一層強まって、調査対象の全地区で前年実績を割り込むこととなった。

食料品や化粧品が好調に推移したこと、一部の店舗で改装効果が見られたこと、値頃感を訴求するセール催事が活発に展開されたことなど、売上を下支えするプラス要素もみられたが、前年に比べて土曜・日曜がそれぞれ1日ずつ減少したこと、主婦層の生活防衛意識の高まりで婦人服の不調が続いていること、株安による逆資産効果で宝飾・貴金属等の高額品が依然不振であること、特に昨年まで堅調であった欧米のラグジュアリーブランドが総じて成長を鈍化させていることなどが影響し、最終的には減収基調が続く結果となった。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 寒気の南下がほとんどなく、月前半を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、全国的に高温となった。東日本太平洋側と西日本では、月後半に台風や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (" -2日/土・日曜各1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 24店、②変化なし: 41店、③減少した: 85店、④不明: 42店

(5) 9月歳時記 (敬老の日、秋分の日/お彼岸) の売上 (同上)

①増加した: 5店、②変化なし: 80店、③減少した: 25店、④不明: 82店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 15店、②変化なし: 84店、③減少する: 38店、④不明: 55店

全国百貨店 売上高速報 2008年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	524,017,205	100.0	-4.7 (-4.6)
10都市	339,013,504	64.7	-4.8 (-4.3)
札幌	14,801,754	2.8	-4.4
仙台	6,693,832	1.3	-7.7
東京	132,558,429	25.3	-4.6 (-3.4)
横浜	29,463,815	5.6	-0.5
名古屋	31,529,276	6.0	-8.7
京都	20,547,162	3.9	-3.7
大阪	64,190,617	12.2	-5.0
神戸	14,203,057	2.7	-5.2
広島	11,156,013	2.1	-5.0
福岡	13,869,549	2.6	-4.0
10都市以外の地区	185,003,701	35.3	-4.6 (-5.1)
北海道	3,762,984	0.7	-7.7 (-20.0)
東北	10,556,639	2.0	-3.3
関東	90,910,179	17.3	-3.3
中部	13,912,839	2.7	-4.7
近畿	16,604,060	3.2	-2.9
中国	12,247,399	2.3	-4.9 (-8.5)
四国	9,617,314	1.8	-6.0
九州	27,392,287	5.2	-8.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	524,017,205	100.0	-4.7 (-4.6)
紳士服・洋品	32,931,301	6.3	-2.6 (-2.9)
婦人服・洋品	134,136,470	25.6	-4.9 (-5.0)
子供服・洋品	12,053,717	2.3	-5.7 (-5.8)
その他衣料品	15,421,836	2.9	-7.1 (-7.3)
■ 衣 料 品	194,543,324	37.1	-4.8 (-4.9)
■ 身のまわり品	70,376,696	13.4	-8.8 (-8.6)
化粧品	29,409,987	5.6	1.2 (1.1)
美術・宝飾・貴金属	28,262,368	5.4	-6.4 (-6.5)
その他雑貨	22,734,580	4.3	-12.1 (-11.5)
■ 雑 貨	80,406,935	15.3	-5.5 (-5.4)
家 具	7,651,494	1.5	-18.2 (-18.1)
家 電	1,718,360	0.3	-29.6 (-29.6)
その他家庭用品	17,041,934	3.3	-7.1 (-7.1)
■ 家 庭 用 品	26,411,788	5.0	-12.4 (-12.3)
生 鮮 食 品	28,208,095	5.4	-0.5 (0.0)
菓 子	29,526,170	5.6	0.8 (1.0)
惣 菜	28,642,005	5.5	-2.8 (-2.6)
その他食料品	35,318,689	6.7	2.7 (3.0)
■ 食 料 品	121,694,959	23.2	0.2 (0.5)
食 堂 喫 茶	15,677,955	3.0	-6.0 (-4.9)
サ ー ビ ス	5,589,936	1.1	-11.2 (-10.0)
そ の 他	9,315,612	1.8	7.2 (6.5)
商 品 券	14,240,384	2.7	-10.0 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|-------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -4.8% | (店舗数調整後／7か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -4.6% | (" / 15か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-4.8	-3.1	7か月連続マイナス
札幌	-4.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
仙台	-7.7	-0.1	5か月連続マイナス
東京	-4.6	-1.2	7か月連続マイナス
横浜	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
名古屋	-8.7	-0.6	10か月連続マイナス
京都	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	-5.0	-0.6	7か月連続マイナス
神戸	-5.2	-0.1	6か月連続マイナス
広島	-5.0	-0.1	7か月連続マイナス
福岡	-4.0	-0.1	2か月連続マイナス
10都市以外の地区	-4.6	-1.6	15か月連続マイナス
北海道	-7.7	-0.1	11か月連続マイナス*
東北	-3.3	-0.1	6か月連続マイナス*
関東	-3.3	-0.6	15か月連続マイナス
中部	-4.7	-0.1	6か月連続マイナス
近畿	-2.9	-0.1	6か月連続マイナス
中国	-4.9	-0.1	4か月連続マイナス*
四国	-6.0	-0.1	15か月連続マイナス
九州	-8.8	-0.5	13か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来21か月連続プラス、その他食料品が4か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.7	—	7か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.6	-0.2	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.9	-1.3	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-5.7	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-7.1	-0.2	7か月連続マイナス
衣料品	-4.8	-1.8	15か月連続マイナス
身のまわり品	-8.8	-1.2	13か月連続マイナス
化粧品	1.2	0.1	21か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-6.4	-0.4	19か月連続マイナス*
その他雑貨	-12.1	-0.6	10か月連続マイナス*
雑貨	-5.5	-0.9	7か月連続マイナス
家具	-18.2	-0.3	10か月連続マイナス
家電	-29.6	-0.1	9か月連続マイナス
その他家庭用品	-7.1	-0.2	7か月連続マイナス
家庭用品	-12.4	-0.7	10か月連続マイナス
生鮮食品	-0.5	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	0.8	0.0	21か月連続プラス*
惣菜	-2.8	-0.1	4か月連続マイナス*
その他食料品	2.7	0.2	4か月ぶりプラス*
食料品	0.2	0.0	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	-6.0	-0.2	2か月連続マイナス
サービス	-11.2	-0.1	4か月連続マイナス
その他	7.2	0.1	12か月ぶりプラス
商品券	-10.0	-0.3	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>